

日建連表彰 2023 第 4 回土木賞 特別賞

廣野ゴルフ倶楽部コース改修工事

日建連表彰2023



第4回土木賞

一般社団法人日本建設業連合会（日建連）では、2020年に同賞を創設し、社会基盤として国民生活と経済活動を支える土木分野の優れたプロジェクト・構造物を表彰しています。

廣野ゴルフ倶楽部コース改修工事 概要

- 所在地：兵庫県三木市志染町広野7丁目3
- 施設管理者：廣野ゴルフ倶楽部
- 設計者：MACKENZIE & EBERT LIMITED
- 施工者：株式会社竹中土木
- 関係者：古賀ゴルフ・クラブ、有限会社タニインターナショナル、ニホインターメンテナンス株式会社、ゴルフ場用品株式会社
- 着工日：2019年1月4日
- 竣工日：2019年9月30日



《日建連表彰 2023 第 4 回土木賞受賞プロジェクト・構造物》 赤谷 3 号砂防堰堤工事／天ヶ瀬ダム再開発トンネル減勢池部建設工事（Ⅰ期～Ⅲ期）／五十里ダム施設改良工事・五十里ダム取水放流設備新設工事／環 2 地下トンネル（仮称）及び築地換気所（仮称）ほか築造工事（27 一～環 2 築地工区）／北大阪急行線の延伸事業のうち土木工事／JR 飯田橋駅ホーム移設事業／多摩川スカイブリッジ／中央自動車道上田川橋の床版取替え／北陸新幹線 福井開発高架橋建設プロジェクト／陸前高田市震災復興事業の工事施工等に関する一体的業務／【特別賞】廣野ゴルフ倶楽部コース改修工事／【特別賞】芽登第二発電所 導水路改造プロジェクト

【土木賞】土木賞は、募集の前年末までに概ね竣工した土木分野のプロジェクト・構造物を対象に、事業企画、計画・設計、施工及び維持管理などに関する総合評価により選考を行います。選考に当たり、特に、施工プロセスの視点（施工プロセスの改善、良質な社会資本の効率的創出、土木技術の発展・伝承など）を重視しています。

▶詳細や他の写真などは右の二次元コードから Web ページにアクセスしてください。



受賞理由

廣野ゴルフ倶楽部は、自然との調和を重視する英国人チャールズ・ヒュー・アリソンにより設計され、1939年には「世界トップ100コースランキング」第7位にランクインした日本最高のゴルフコースであった。

戦時中の土地の接収などにより一部原形が失われ、その後改修工事が実施されたが、90年前の美しい原形への復元には至らず、また、現代ゴルフが要求するコース性能への対応も遅れていた。今の時代のプレースタイルに対応しつつ、「繊細なアンジュレーションを有するグリーン」、「人の背丈以上に深い荒々しいバンカー（アリソンバンカー）」という90年前の姿へ忠実に復元するため、アリソン思想を唯一受け継いだ英国人設計者マーティン・イーバートの設計のもと、施工者、外国人シェーパー（造形技術者）、芝生の専門家、通訳などが一体となって、名門ゴルフ倶楽部の再生に取り組んだ。

90年前の設計図と写真を参考に改修設計図は

作成されたが、数字だけでは表現できない繊細なアンジュレーションなどは設計者の頭の中のみであり、設計者による度重なる現地立会が不可欠であった。設計者の来日は月1回滞在期間1週間であり、立会・出来形計測の時間短縮・効率化を図りながら、イメージの正確な共有が課題であった。

来日日程に合わせた工程管理を行い、全ホールグリーン同時並行で各層の立会いを計画し、段階確認の管理を着実に実施した（写真-1～3）。また、出来形計測はレーザースキャナによる3D測量で行い、時間短縮・効率化を図るとともに、そのデータは改修後の維持管理にも活用した。

改修の結果、US GOLF Digest ランキングは、改修前の50位から2020年13位、2022年6位となり、名門ゴルフ倶楽部は見事に再生された。

数値化できない造形美を復元した本工事はまさに芸術作品であり、土木の世界に新風を吹き込んだことから、日建連表彰土木賞特別賞に値するものと認められた。



写真-1 バンカー基盤の整形



写真-2 着工前の8番ホール



写真-3 完成後の8番ホール